

**令和5年度  
協働提案事業選考結果報告書**

令和5年10月

小牧市健康生きがい支え合い推進部支え合い協働推進課

# 目次

## 1. 協働提案事業化制度の概要

- (1) 制度の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- (2) 各提案タイプの状況
  - 市民提案型 “きらめき” ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
  - 行政提案型 “はばたき” ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

## 2. 提案事業の選考について

- (1) 選考の流れ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
- (2) 各提案タイプの選考状況
  - 市民提案型 “きらめき” ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
  - 行政提案型 “はばたき” ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

# 協働提案事業化制度の概要

## (1) 制度の目的

市民（市民活動団体）と行政それぞれが、協働で取り組むべき地域課題等を提案し、解決に向けて取り組むことにより、小牧市を「市民が輝く活気あふれるまち」とすることを目的とする。



## (2) 各提案タイプの状況

### 市民提案型 “きらめき”

#### 【内容】

市民(市民活動団体)から行政へ協働事業を提案するタイプ

#### 【応募資格】

- 1) 小牧市市民活動推進条例に基づく「市民活動団体」として登録している団体で、『まちを育む 市民と行政の協働ルールブック』に定める事項を遵守できる団体

#### 《市民活動団体の条件》

1. 市民活動を行うことを目的とした団体であること
2. 3人以上の会員を有していること
3. 主に市内で活動している、または活動の拠点が市内であること
4. 代表者や運営方法が、定款、規約、会則等で決まっていること

- 2) 原則として、団体としての活動実績が1年以上ある団体
- 3) 提案事業の契約を有効に締結できる団体

### 行政提案型 “はばたき”

#### 【内容】

行政から市民(市民活動団体)へ協働事業を提案するタイプ

#### 【応募資格】 ※行政提案事業に対する応募団体

- 1) 小牧市市民活動推進条例に基づく「市民活動団体」として登録している団体で、『まちを育む 市民と行政の協働ルールブック』に定める事項を遵守できる団体

#### 《市民活動団体の条件》

1. 市民活動を行うことを目的とした団体であること
2. 3人以上の会員を有していること
3. 主に市内で活動している、または活動の拠点が市内であること
4. 代表者や運営方法が、定款、規約、会則等で決まっていること

- 2) 原則として、団体としての活動実績が1年以上ある団体
- 3) 提案事業の契約を有効に締結できる団体

## (1) 選考の流れ

---

### 【ヒアリング】

- 令和5年度実施協働提案事業ヒアリング  
《実施日》令和5年7月22日（土）

### 【一次選考】

- 第4回協働のまちづくり実務者会議  
《選考日》令和5年8月7日（月）  
《選考組織》協働のまちづくり実務者会議

- 第5回小牧市市民活動促進委員会

《選考日》令和5年8月21日（月）

《選考組織》小牧市市民活動促進委員会（委員10名のうち9名出席）

委員長：秦野利基氏（(特非)こまき市民活動ネットワーク 代表理事）

委員：戸成司朗氏（(一社)中部SDGs推進センター 代表理事、(特非)中部プロボノセンター 共同代表理事）

委員：星野博氏（(特非)志民連いちのみや 理事長）

委員：竹中烈氏（愛知文教大学 准教授）

委員：伊藤かおり氏（住友理工株式会社CSR推進室 担当課長）

委員：西村文雄氏（ボランティアセンター運営委員会）

委員：鈴木佳世氏（ウィメンズネットこまき 代表）

委員：浅井結氏（公募委員）

委員：増子ひと美氏（公募委員）

## (2) 各提案タイプの選考状況

---

### ①市民提案型 “きらめき”

#### 《選考要領》

【一次選考】協働のまちづくり実務者会議、小牧市市民活動促進委員会

協働のまちづくり実務者会議各検討グループ、小牧市市民活動促進委員会委員により、下記選考項目について採点基準を用いて採点を行った。

#### 《選考項目》

|   | 項目  | 内容                        | 補正值   |
|---|-----|---------------------------|-------|
| 1 | 必要性 | 実施する価値はあるか。市民ニーズに沿っている事業か | ×2点   |
| 2 | 公益性 | 公益的な事業であるか                | ×1.5点 |
| 3 | 協働性 | 協働することで、より一層の効果が期待できる事業か  | ×1点   |
| 4 | 効果性 | 第三者に対する具体的な効果や成果が期待できる事業か | ×1点   |
| 5 | 展望性 | 事業のビジョン(到達目標)が明確にされているか   | ×0.5点 |
| 6 | 適正性 | 予算の見積もりは妥当か               | ×0.5点 |
| 7 | 実行性 | 実行可能なスケジュールや事業内容か         | ×0.5点 |

#### 《採点基準》

| 点数 | 評価      |
|----|---------|
| 5点 | 優れている   |
| 4点 | やや優れている |
| 3点 | 普通      |
| 2点 | やや劣っている |
| 1点 | 劣っている   |

- ① 事務局で作成した採点集計表を提出し、採点結果の確認を行った。
- ② 採点結果の確定、コメントの整理を行った。

※協働のまちづくり実務者会議と小牧市市民活動促進委員会の採点の結果、得点率がいずれも60%未満の事業は、一次選考で不採択とし、それ以外の事業は、一次選考通過とする。

《選考結果》 ※得点率については、小数点第2位切捨て

| No.1                |   | 提案事業名：桃花台活性化事業【再提案】 |                |                |                    |                  |                  |                    |
|---------------------|---|---------------------|----------------|----------------|--------------------|------------------|------------------|--------------------|
| 提案団体名               | 桃花台を考える会  |                     |                |                |                    |                  |                  |                    |
| 事業概要                | <p>人口減少が急速に進んでいる桃花台ニュータウンを持続的なまちとするために、魅力、活力のあるまちづくりを協働事業で行う。小牧市が制定した「東部振興構想」の実現のため、市と協働した活動を3つの柱で進める。</p> <p>①住民まちづくり参加推進事業 講演会（年2回）</p> <p>②空き家発生予防活動事業 セミナーの開催（年2回）、相談会の開催（随時）</p> <p>③文化の醸成推進事業 桃花台音楽まつりの開催（年2回）、音楽講座などの開催（年3回）</p>   |                     |                |                |                    |                  |                  |                    |
| 協働のまちづくり実務者会議       |   |                     |                |                |                    |                  |                  |                    |
| 各項目の点数及び得点率         | 必要性   | 公益性                 | 協働性            | 効果性            | 展望性                | 適正性              | 実行性              | 合計                 |
|                     | 74/100<br>74.0%   | 60/75<br>80.0%      | 38/50<br>76.0% | 33/50<br>66.0% | 15.5/25<br>62.0%   | 15.5/25<br>62.0% | 18.5/25<br>74.0% | 254.5/350<br>72.7% |
| コメント                | <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域住民の意識の醸成が重要であるため、住民自身が地域の現状や課題を再認識する機会の提供に努めてください。</li> <li>●この事業が桃花台活性化にどう貢献できたか、客観的に評価できるよう、幅広い年代層の意見を聴くなど、ニーズや満足度の調査の実施について検討してください。</li> <li>●目的達成のためには継続が必須であるため、運営面や自主財源の確保などの財政面の見直しも検討してください。</li> <li>●将来を担う若い世代を取り込み、次の世代へ引き継いでいけるような体制を構築してください。</li> <li>●市内だけでなく市外の方にも東部地区の魅力を知ってもらえるような取組を期待します。</li> <li>●空き家の発生予防だけでなく、利活用を含めた事業の展開に期待します。</li> </ul> |                     |                |                |                    |                  |                  |                    |
| 小牧市市民活動促進委員会        |   |                     |                |                |                    |                  |                  |                    |
| 各項目の点数及び得点率         | 必要性   | 公益性                 | 協働性            | 効果性            | 展望性                | 適正性              | 実行性              | 合計                 |
|                     | 54/70<br>77.1%  | 39/52.5<br>74.2%    | 23/35<br>65.7% | 22/35<br>62.8% | 10.5/17.5<br>60.0% | 10/17.5<br>57.1% | 13/17.5<br>74.2% | 171.5/245<br>70.0% |
| コメント                | <ul style="list-style-type: none"> <li>●音楽まつりは1つのツールでしかありません。イベントの開催、市民へのサービス提供だけにとどまることなく、若い世代や今まで関わりのなかった住民を巻き込んで、地域の活性化に取り組めるよう、事業をひろげてください。</li> <li>●この事業が単一の協働事業としてだけでなく、桃花台の課題解決のため、都市整備、定住促進、文化振興など多様な政策と関連付く事業としてください。</li> <li>●事業の目的に近づいていくためには、今一度事業の目標を精査し、期間やゴールを設定したロードマップを作るなど事業の進捗を評価するとともに、自主財源の確保や人材の育成に努めるなど持続可能な仕組みを作ってください。</li> </ul> <p>団体・行政ともに以上の点を達成するよう努めてください。</p>                 |                     |                |                |                    |                  |                  |                    |
| 二次選考結果（協働提案事業選考委員会） |   |                     |                |                |                    |                  |                  |                    |
| 結果                  | 採択【協働する部署：東部まちづくり推進室】   |                     |                |                |                    |                  |                  |                    |

| No.2          | 提案事業名：中学生英語スピーチコンテストの開催   |                  |                |                |                  |                  |                  |                      |
|---------------|---|------------------|----------------|----------------|------------------|------------------|------------------|----------------------|
| 提案団体名         | 小牧・ワイアンドット友好市民の会  |                  |                |                |                  |                  |                  |                      |
| 事業概要          | <p>中学生が自らの英語学習の成果を多くの観覧者の前で試すことのできる機会として「中学生英語スピーチコンテスト」を開催する。</p> <p>一般市民が自由に観覧できる公共施設のオープンスペース等を会場として開催し、参加者には自由なテーマで一人3分程度の英語によるスピーチを行い、これを審査して優秀者を表彰する。</p> <p>参加者は、各中学校への案内や広報こまきを通じて募集し、先着で12人程度とする。予めスピーチの内容を英文で提出していただき、観覧者にはその日本語要約文を配布する。</p> <p>参加者には事前に審査基準を告知し、審査員にはネイティブスピーカー（英語を母国語とする人）を含め、講評もネイティブスピーカーが行う。</p>  |                  |                |                |                  |                  |                  |                      |
| 協働のまちづくり実務者会議 |   |                  |                |                |                  |                  |                  |                      |
| 各項目の点数及び得点率   | 必要性   | 公益性              | 協働性            | 効果性            | 展望性              | 適正性              | 実行性              | 合計                   |
|               | 72/100<br>72.0%   | 52.5/75<br>70.0% | 33/50<br>66.0% | 31/50<br>62.0% | 15.5/25<br>62.0% | 16.5/25<br>66.0% | 18.5/25<br>74.0% | 239<br>/350<br>68.2% |
| コメント          | <ul style="list-style-type: none"> <li>●コンテストの対象である中学生の意見も取り入れて実施方法を見直し、より参加したいと思えるような事業にしてください。</li> <li>●実施方法や周知の方法、インセンティブなど参加者を増やすような工夫をするとともに、参加者の属性の偏りが少なくなるような取り組みに努めてください。</li> <li>●近年は小学生も英語に触れる機会が増えているため、参加対象者の拡大も検討してください。</li> <li>●コンテストをZoomで視聴できるようにするなど、観客を含めた多くの人に英語を身近に感じてもらい、英語を使う人の輪が広がることを期待します。</li> <li>●コンテストだけでなく、他の事業との連携など相乗効果を狙い、その先につながるような事業となることを期待します。</li> </ul> |                  |                |                |                  |                  |                  |                      |
| 小牧市市民活動促進委員会  |   |                  |                |                |                  |                  |                  |                      |
| 各項目の点数及び得点率   | 必要性   | 公益性              | 協働性            | 効果性            | 展望性              | 適正性              | 実行性              | 合計                   |
|               | 50/70<br>71.4%  | 36/52.5<br>68.5% | 24/35<br>68.5% | 22/35<br>62.8% | 10/17.5<br>57.1% | 13/17.5<br>74.2% | 12/17.5<br>68.5% | 167<br>/245<br>68.1% |
| コメント          | <ul style="list-style-type: none"> <li>●参加者を増やすための仕掛けやインセンティブ（例えばネイティブとの交流や市長対談）の提供など、コンテストへ参加を促す工夫が必要です。</li> <li>●参加対象となる中学生の意見を取り入れて、参加者のサポート体制の充実や運営方法の見直しなども検討してください。</li> <li>●高校生、大学生へと成長した事業の参加者や退職された英語の先生方に、この事業を含めた英語教育の支援者としてサポートしていただける関係づくりや人材育成に期待します。</li> <li>●団体、行政ともに事業の目的や目標とお互いの役割を再認識するとともに、どの程度英語教育に寄与したかの評価指標を再検討し、最大限の効果が出せるよう、事業を遂行してください。</li> </ul>                     |                  |                |                |                  |                  |                  |                      |

**二次選考結果（協働提案事業選考委員会）**

|    |                  |
|----|------------------|
| 結果 | 採択【協働する部署：学校教育課】 |
|----|------------------|

**②行政提案型 “はばたき”****【行政提案に対して応募のなかった事業（1事業）】**

|      |  |
|------|--|
|      | 提案事業名：違反簡易広告物除却事業  |
| 提案課名 | 都市計画課  |
| 事業概要 | 市内全域に散見される違反簡易広告物について、行政のみでは除却に限界があるため、協働により地域住民自らが除却を行うことで、違反簡易広告物のない良好な地域景観の保護と風致の維持につなげる。 |